



石川県立輪島高等学校PTA

## 桐

第一〇九号(令和8年3月発行)

## 〇ご挨拶

「未来へ羽ばたく卒業生へ 震災を乗り越えて」

PTA会長 二木 賢太郎

保護者の皆さま、先生方、そして卒業生の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。晴れやかなこの日を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

令和6年能登半島地震や能登半島豪雨など、私たちは大きな試練にも直面しました。震災という未曾有の出来事により、子どもたちをはじめ、保護者の皆さま、先生方、地域の皆さまが多くの困難を乗り越えてこられました。その経験は、決して忘れることのできないものであり、同時に私たちに「助け合い」「強さ」「絆」の大切さを教えてくれました。

震災を経験した子どもたちは、その中で学び、成長し、今日の卒業の日を迎えました。多くの困難の中でも希望を持ち続け、明るく前向きに歩んできた皆さんの姿は、本当に立派で誇らしいものです。

また、先生方の変わらぬご指導と温かいサポート、保護者の皆さまのご支援、ご協力に改めて感謝申し上げます。地域と学校、そして家庭が一丸となって支え合うことで、子どもたちの健やかな成長を守ることができました。

卒業生の皆さん、これから新しい環境へ進む中でも、この震災経験で培った強さや思いやりを大切にしてください。どんな困難に直面しても、乗り越える力は必ずあなたの中にあります。未来への期待を胸に、自信を持って新たな一歩を踏み出してください。



私たちPTAも、今後も子どもたちの未来を支えてまいります。今後とも、皆さまの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 「旅の始めに」

校長 平野 敏

「ますのすし」はお好きですか。「ますのすし」のマスはマスではないってご存じでしたか。正確にはサクラマス、そしてその正体はヤマメです。ヤマメは二〇センチくらいの小さな魚ですが、サクラマスはサケのように大きくなって六〇センチくらいあります。

同じ親から生まれたヤマメ。餌をとるとき、小さな魚は大きな魚に負けて餌をたくさん食べられません。このままでは死んでしまうので勇気を出して、敵がいっぱいいるけど餌もたくさんある海に向かうのです。生まれた頃はちっぽけだったけど、大きな海でいろんな敵との闘いをくぐりぬけて泳いでいるうちに、体がどんどん大きくなってサクラマスになり、やがて立派に成長して生まれた川に戻ってきて卵を産むのです。大きな魚に餌をとられてあきらめていたら、こうはなれません。負けたと思ったらそこで終わりです。

みなさんもいつか大きく成長した自分に気づくことができるよう、大海原への旅を応援します。



## 〇令和7年度PTA活動方針

- ① 全員参加型PTA活動  
委員会組織は廃止し、行事ごとに全員に情報を配信メール等で周知して参加を募ります。
- ② 子どもたちの充実した学校生活のため  
輪島高校の子どもたちの活動のために集中して力を注ぎます。

## ○ 新しい生活に臨むわが子へ

「新しい一步を踏み出すあなたへ」

この三年間を思い返すと、ただ勉強や部活動を頑張っただけではなく、想像もなかった出来事を一緒に経験してきました。能登半島地震や豪雨によって、日常が一瞬で奪われ、家族みんなで不安な日々を過ごしたことは決して忘れられない。それでも君はくじけず、学校に通い続け、仲間と助け合いながら前を向いて歩いてきた。その姿に何度も勇気づけられました。

大きな災害の中で、「当たり前前の生活がどれほど尊いか」を肌で感じたと思います。また、「人と人とのつながりの大切さ」も学んだはず。つらい経験でしたが、それはきっと人生を支える強い土台になると信じています。

これから先、新しい道を歩み、学びの場も、出会う人々も、今までとは違う環境になります。楽しいことばかりではなく、きつと壁や挫折にも出会うと思います。でもそのときは、今回の経験を思い出してほしいです。すでに大きな困難を家族や友人と力を合わせて乗り越えてきたのだから。どんな状況でも、君ならきつと乗り越えられるはず。です。

私たちは、選ぶ道を心から応援しているし、いつでも帰ってこられる場所を守っています。だから安心して、思いきり挑戦してほしいと思います。失敗しても大丈夫。悩んでもいい。大切なのは、自分を信じて歩き続けてください。

卒業はゴールではなく、新しいスタートです。君のこれからの人生が、自分らしさにあふれ、誰かの笑顔につながるものであるように。

「未来へのエール」

小さかったあなたが、今日こうして高校を卒業する日を迎えたことを思うと、胸がいっぱいになります。ランドセルを背負って歩き出した日のこと、部活で汗を流しながら頑張っていた姿、笑顔で帰ってきた日、時には悔しくて涙を流した日、その一つひとつが大切な宝物です。

君の  
エール!!

これからは、いよいよ自分の力で生活を築いていくね。心配してしまうのは、やっぱり毎日の暮らしです。特にご飯のこと。これまでは当たり前のように食卓に料理が並んでいたけれど、これからは自分の手で作って食べていく。最初は不安もあるだろうけれど、どうか「食べることを大事にしてね。栄養のある食事は、あなたの心と体を守り、夢に向かう力を与えてくれるから。」

新しい生活はきつと、楽しさと同じくらい大変さも待っています。思うようにいかず落ち込むこともあるでしょう。でも、そのたびに立ち上がり、自分で選んだ道を一步ずつ歩んでほしい。あなたの強さと優しさを信じています。

そして覚えていてね。どんなに離れていても、いつもあなたの味方です。疲れたとき、寂しいとき、頑張れなくなったときは、どうか無理をせずに帰ってきてください。ここにはいつも、あなたの居場所があります。

卒業は終わりではなく、未来への新しい始まりです。あなたがこれから出会う人や経験が、人生を豊かに彩ってくれることを願っています。どうか健康に気をつけて、あなたらしい人生を歩んでください。

「全力投球」

ご卒業おめでとうございます。

沢山の仲間や先生方に出会えて、決して忘れる事のない、素敵な思い出もあり、辛い思い出もあり色々な経験をした3年間でしたね。でもそれがこれからの成長の糧になると思います。

新しいステージでの生活に大変な事も多々あるかと思いますが、あなたがなぜこの学校に決めたかを思い出して頑張ってください。

怪我せず、健康第一また悔いのないよう、さらなる高みを目指して全力投球で!!



## 「新しいフィールドへ」

卒業おめでとうございます！

この節目を迎えられたこと、心からお祝い申し上げます。

高校生活で培った努力や経験は、これからの人生の大きな財産となります。

震災による進路変更は、非常に大きな挑戦だったと思います。その中で、自分の夢や目標に向かって努力を続けている姿には、感心しております。

春からの新生活に不安もあるでしょう。でも、一人じゃない。あなたには、離れていても、家族がいます。友人がいます。あなたの未来には、多くの可能性が広がっています。頑張れ！応援しています！

## 「あなたの歩む道へ」

小さい頃から体が弱く、すぐに疲れてしまったあなたが、部活に全力で取り組む姿を見て、母さんは何度も胸を熱くしました。朝早く起きて練習に向かうあなた、仲間と励まし合いながら試合や大会に挑む姿、勝って喜び、負けて悔し涙を流す姿…その一つひとつが、私にとってかけがえのない宝物です。体が弱かった分、努力と工夫を重ねてきたあなたの姿は、本当に立派でした。

これからはいよいよ就職し、自分の力で生活を築いていく時期です。どうしても心配してしまうのは、やはり健康面や毎日の暮らしのことです。特に食事や休養を大切にしてください。これまでは家でご飯を用意していたけれど、これからは自分で作るようになります。最初は戸惑うこともあるでしょう。でも、栄養のある食事と十分な休息は、仕事に向かう力の源です。体を大事にしてほしいと心から思います。

新しい生活では、楽しいこともあれば、思うようにいかず悩むこともあるでしょう。でも、部活で培った努力する力や仲間と支え合う心を思い出してください。困難に出会っても、あなたならきっと乗り越えられると信じています。

どんなに離れていても、いつもあなたの味方です。疲れた



とき、悩んだとき、立ち止まったときは、どうか無理をせず帰ってきてください。

部活で学んだ頑張る力や仲間を大切にすることを胸に、就職という新しい舞台でも、自分らしく、健康に気をつけて輝いて歩んでください。あなたの未来が、喜びと成長にあふれるものになることを、母さんは心から願っています。

## 「勇気と希望を胸に」

今日こうして高校を卒業する日を迎え、胸がいっぱいです。

あの震災の日、私たちは家族で不安な夜を過ごしました。怖くて、悲しくて、何もできない自分をもどかしく思った日々。それでもあなたは、助け合いながら日々を積み重ねてきました。心配することも多かったけれど、あなたは自分のペースで一歩

一歩進んできました。部活では仲間と力を合わせ、悔しい思いもたくさん味わったね。でも、その経験があなたを強く、優しくしてくれました。

震災という困難を乗り越えたあなたの姿は、私たちにとって何よりの誇りです。これからの人生も、どんな困難があってもあなたらしく、誠実に歩んでください。私たちはいつでもあなたを応援しています。

※ 心温まるメッセージをありがとうございました。

## 〇令和7年度PTA役員（敬称略）

- |     |  |
|-----|--|
| 会長  | 二木 賢太郎   |
| 副会長 | 宮下 葉月・邑田 昭子                                    |
| 会計  | 崖 亮子・池上 稔（輪島高校事務長）                             |
| 監事  | 濱田 さやか・宮下 美子                                   |
| 委員  | 沖崎 陽子・川口 麻里・新保 真智子・竹内 恵美<br>中川 由香・中田 美都子・山下 竜雄 |



## ○令和7年度PTA活動

- 4月  
8日 入学式・新入生保護者説明会  
21日 第1回役員会
- 5月  
2日 PTA総会・授業参観
- 6月  
10日 県高P連年次総会(金沢)
- 7月  
11日 北信越地区高P連研究大会(福井県) (～12日)  
18日 輪高PTA日より「桐」(108号)発行  
22日 教科書研究委員会  
22日 保護者懇談会(～24日)  
29日 第2回役員会
- 8月  
21日 全国高P連大会・三重大会(三重県津市) (～22日)  
29日 輪高祭①・文化部ステージ・クラス企画・生徒会企画  
30日 輪高祭②・模擬店・催事(クッキー・サブレ・飲み物販売)
- 10月  
21日 体育祭
- 11月  
1日 WAIJ活中間発表会  
1日 いしかわ教育ウィーク学校公開(～7日)  
5日 県高P連研究大会・指導者研修会・功労者表彰
- 12月  
9日 三者面談(3年)(～12日)  
24日 保護者懇談(1・2年)(～25日)



3月

- 3日 輪高PTA日より「桐」(109号)発行  
3日 第78回卒業式  
第3回役員会

## ○仮設校舎



外 観



実験室



教 室

## ○編集後記

12月から仮設校舎という新しい環境での生活が始まりました。この仮設校舎は子どもたちが一番身近に感じられる復興の一つではないでしょうか。また、街並みも改めて見てみると、少しずつ変化が生まれ、一步一步前に進んでいるように感じます。

卒業式を機に子どもたちの姿を改めて見つめてみると、日々の生活を通じて、心身ともに大きく成長したと感じます。

震災という大きな経験を乗り越え、この度卒業を迎えた3年生に、今後の人生に幸あれとエールを送りたいと思います。

来年度も子どもたちの健やかな成長と、保護者の皆さまの笑顔のためにも取り組んでいきたいと思えます。ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【発行】石川県立輪島高等学校PTA

〒928-0001

石川県輪島市河井町18部42番地の2



輪島高校  
ホームページ